インフラ整備の効果

～安全・安心、快適なまちづくりに向けて～

「インフラのストック効果」事例集

（道路、都市整備、公園、河川、港湾）

Colors, Future!

いろいろって、未来。

川崎市

Colors, Future!
いろいろって、未来。
川崎市

Index

川崎市の概要及び位置図 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １
インフラのストック効果とは ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ２

１　道路

①世界的な成長戦略拠点の形成 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ３
（多摩川スカイブリッジ（羽田連絡道路）の整備）
②広域的な交通ネットワークの形成 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ４
（川崎縦貫道路（Ｉ期）の整備）
③交通の円滑化と魅力ある都市環境の形成 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ５
（都市計画道路等の幹線道路網の整備）
④踏切のない安全で快適なまちづくり ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ６
（連続立体交差化の推進）
⑤局所的な対策による効率的な渋滞緩和 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ７
（緊急渋滞対策の推進）
⑥安全で快適な自転車利用 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ８
（自転車通行環境の整備、放置自転車対策の推進）

２　都市整備

⑦活力と魅力あふれる川崎の玄関口 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ９
（川崎駅周辺地区のまちづくり）
⑧選ばれるまち武蔵小杉 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １０
（小杉駅周辺地区のまちづくり）
⑨魅力とにぎわいのあるまちの形成 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １１
（登戸土地区画整理事業）

３　公園

⑩魅力あふれる拠点の形成 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １２
（等々力緑地、富士見公園の再編整備）
⑪豊かな自然と文化施設 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １３
（生田緑地の保全・管理・運営）
⑫誰もがのびのび過ごせる身近な公園 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １４
（魅力的な公園の整備）
⑬墓所と自然が融合した親しみある霊園 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １５
（市営霊園の整備）

４　河川

⑭巨大な地下トンネルが守る地域の暮らし ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １６
（五反田川放水路の整備）
⑮心地よい風が吹く憩いの場 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １７
（多摩川緑地の整備・管理）

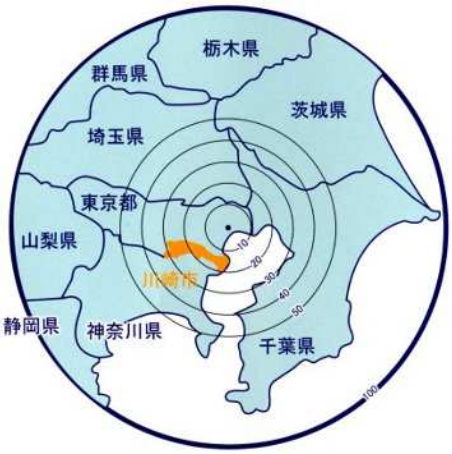
５　港湾

⑯物流拠点と防災拠点を支えるインフラ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ １８
（臨港道路東扇島水江町線の整備）

川崎市の概要及び位置図

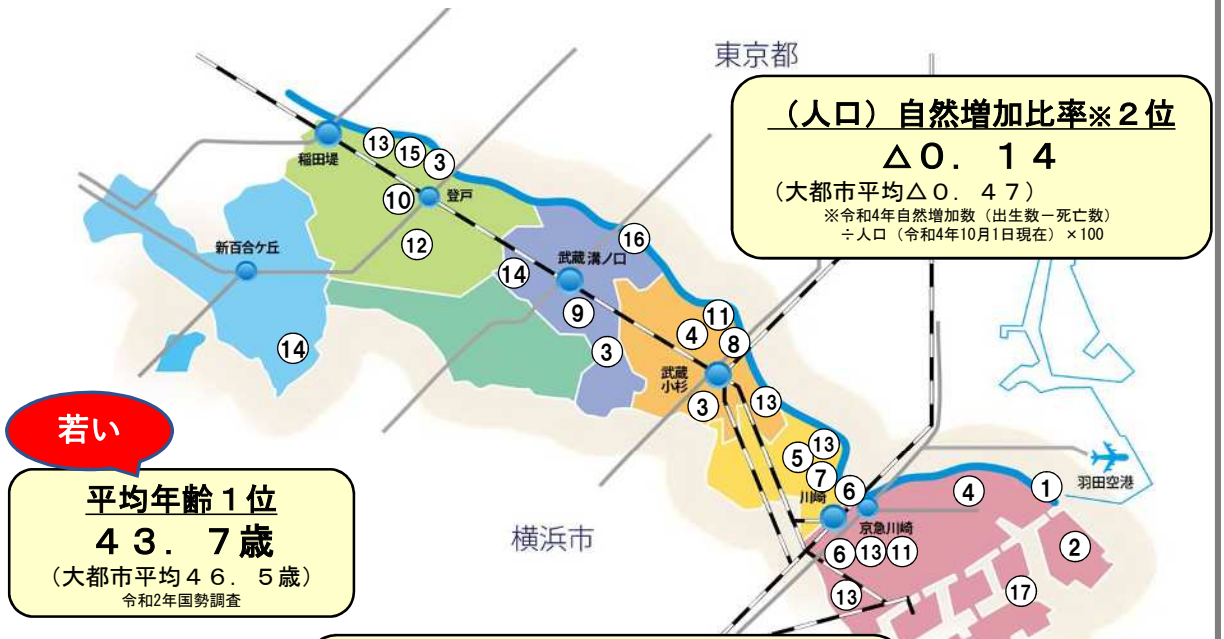
川崎市は神奈川県の北東部に位置し、多摩川を挟んで東京都と隣接しています。市内には多くの鉄道が縦横に走り、東京、横浜、羽田空港などへのアクセスに優れた、交通の利便性が高く快適で暮らしやすいまちです。

全国的に人口が減少する中、川崎市の人口は増加を続け、2017年4月24日に150万人を突破しました。2030年頃まで増加を続け、ピーク時には約160万5千人に達すると想定されています。



川崎市ってこんなまち

（地図中の番号は、各事業の位置を示しています。）



（人口）自然増加比率※２位
△０．１４
（大都市平均△０．４７）
※令和4年自然増加数（出生数－死亡数）÷人口（令和4年10月1日現在）×100

若い

平均年齢１位
４３．７歳
（大都市平均４６．５歳）
令和2年国勢調査

安心なまち

刑法犯認知件数※が３番目に少ない
３．８人
（大都市平均５．６人）
※人口千人当たり刑法犯認知件数
令和4年刑法犯認知件数÷人口（令和4年10月1日現在）×1000

※　ランキング出典元：『令和４年版大都市データランキング　カワサキをカイセキ！』
『令和２年国勢調査』

インフラのストック効果とは

道路、橋りょう、まち（都市整備）、公園、河川、港湾など、生活の基盤となるインフラを整備することで得られる効果として、短期的な「フロー効果」と中長期的な「ストック効果」があります。

整備されたインフラが本来持つ機能を最大限に発揮できるよう、川崎市では効率的・効果的なインフラの整備・管理に日々取り組んでいます。

フロー効果（インフラ整備事業自体による短期的な効果）

【整備された主なインフラ】

［道路］

［橋りょう］

［公園］

［河川］

ストック効果（整備されたインフラが機能することによる中長期的な効果）

安全・安心なまち
（災害リスクの低減等）

暮らしやすい快適なまち
（例:渋滞解消による移動時間の短縮）

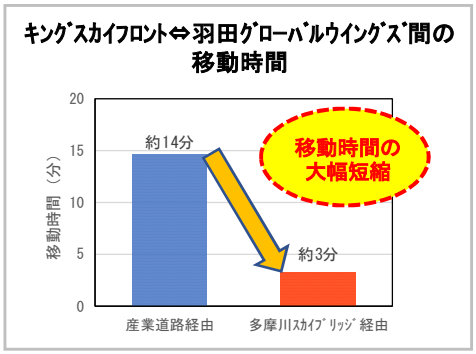
楽しくいきいき暮らせるまち
（生活環境・水準の向上）

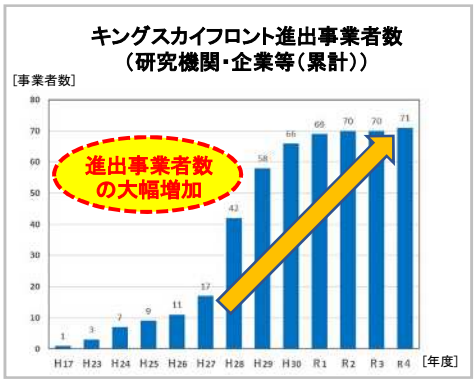
Colors, Future!
いろいろって、未来。
川崎市

①世界的な成長戦略拠点の形成
多摩川スカイブリッジの整備

川崎市の殿町地区（キングスカイフロント）と東京都の羽田空港周辺地区（羽田グローバルウイングズ）を結び、多摩川を渡る多摩川スカイブリッジを整備しました。
（道路延長約840m、標準幅員17.3m、令和4年3月開通）

多摩川スカイブリッジ





【キングスカイフロント】
羽田空港の対岸川崎市殿町地区の約40haに及ぶ開発エリアで、ライフサイエンス・環境分野における世界最高水準の研究開発から新産業を創出する拠点であり、国家戦略特区・国際戦略総合特区などの区域に指定されています。

ストック効果

我が国の産業を強化し、経済の持続的発展に寄与する成長戦略拠点の形成

・羽田グローバルウイングズと殿町地区が、羽田空港を中心とした一体的な成長戦略拠点として形成され、「ヒト・モノ・ビジネス」の交流が活性化します。
・両地区の連携強化による相乗効果が発現し、その成果やビジネス機会が東京圏の各拠点や国内各地・世界へ波及するなど、我が国の産業活性化に寄与します。
・キングスカイフロントでは、多摩川スカイブリッジの整備による成長戦略拠点としての価値や羽田空港とのアクセス性の向上に伴い、研究機関の立地が進み、ライフサイエンス分野をはじめとした成長分野の新産業の創出などが加速しています。

Colors, Future!
いろいろって、未来。
川崎市

②広域的な交通ネットワークの形成

川崎縦貫道路（Ⅰ期）の整備

川崎浮島ジャンクションから国道15号までの約7.9kmをⅠ期区間の自動車専用部として整備を行っています。川崎浮島ジャンクションから大師ジャンクションまでは開通済みで、首都高速湾岸線、東京湾アクアライン、首都高速横羽線等を結び、広域的な交通ネットワークを形成しています。

【迂回路としての機能】

出典：首都高速道路株式会社

【川崎駅から羽田空港の所要時間】

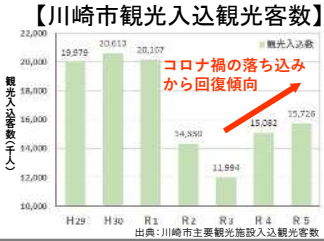
	一般道路利用ルート	川崎縦貫利用ルート	短縮時間
	32分	21分	11分

出典：首都高速道路株式会社

【高速大師橋架け替え時】

出典：首都高速道路株式会社

【川崎市観光入込観光客数】



出典：川崎市主要観光施設入込観光客数

臨海部の工場夜景

等々力陸上競技場

藤子・F・不二雄ミュージアム

ストック効果

羽田空港などへのアクセス性の向上

・川崎市街から羽田空港や東京湾アクアラインへの所要時間が短縮され、アクセス性が向上しています。

交通ネットワークの多重化による災害対応力等の強化

・事故や災害等による周辺道路不通時に、迂回路として速やかな移動が可能になります。

周辺地域の活性化による経済の活性化

・川崎市内への観光客数の増加により、経済の活性化につながります。

（新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年から減少した川崎市観光入込観光客数は令和3年度以降、回復傾向）

③交通の円滑化と魅力ある都市環境の形成

都市計画道路等の幹線道路網の整備、道路空間の活用

円滑な道路交通を確保し、安全で快適な都市生活の実現を図る幹線道路網の整備やまちの賑わいや交流を創出し、都市の魅力向上や地域の活性化を図る道路空間の活用を推進しています。

都市計画道路の整備

整備前

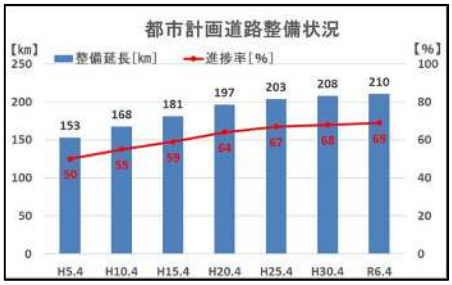
道路の整備により車両通行の円滑化と歩行者が安全で快適な道路へ

整備後

野川柿生線（麻生区）

苅宿小田中線（中原区）

宮内新横線（高津区）



道路通行環境の向上

①バリアフリー化

②電線類の地中化

③都市緑化（街路樹）

ストック効果

道路空間の高質化

ライトアップ
（再生可能エネルギーを活用）

道路空間の活用

みんなの川崎祭（川崎区）

交通の円滑化
・道路ネットワークの形成により交通の分散化を促し、交通の円滑化につながっています。

安全・安心・快適な道路利用の実現
・歩車道の段差解消等、高齢者や障害のある方も安全で快適に通行できる道路環境を創出しています。

都市の防災性を強化
・電柱をなくし、電線類を地中化することで、災害時に避難経路確保等の効果を発揮しています。

都市景観の向上
・都市緑化の促進により、潤いのある都市景観を創出しています。

まちの賑わいや交流を創出
・道路空間を活用することにより、まちの賑わいや交流を創出し、都市の魅力向上や地域の活性化を推進しています。

Colors, Future!
いろいろって、未来。
川崎市

④踏切のない安全で快適なまちづくり
連続立体交差化の推進

鉄道の一定区間を高架化や地下化することにより、複数の踏切を一度に無くすことができる連続立体交差事業を進めています。

ＪＲ東日本南武線（武蔵小杉駅～第三京浜高架下間（**完成**））

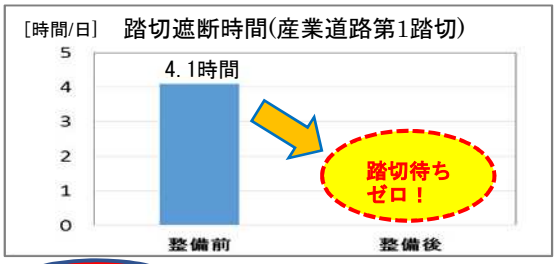
整備前（旧中山街道踏切）

整備後

京浜急行大師線（小島新田駅～鈴木町駅間（**事業中**））

整備前（旧産業道路第1踏切）

整備後



整備後における高架下空間の有効活用

保育園（中原区）

駐輪場（中原区）

ストック効果

交通の円滑化および安全性向上
・踏切が無くなることで交通渋滞が緩和されるとともに、踏切事故が無くなります。

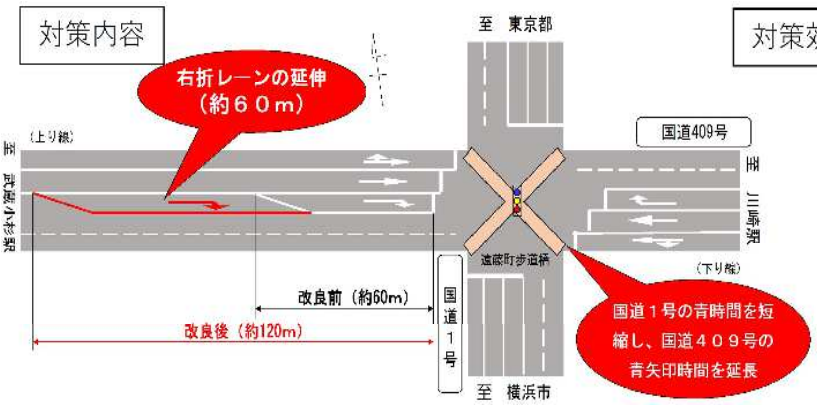
地域の魅力向上
・鉄道により分断されたまちが一体化し、回遊性が向上するとともに地域の賑わいに貢献します。
・連続立体交差化により創出される空間を有効に活用し、まちの活性化にも寄与します。

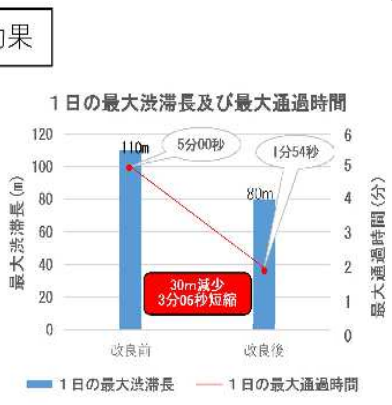
⑤局所的な対策による効率的な渋滞緩和
緊急渋滞対策の推進

慢性的に渋滞が発生している交差点等について、交差点改良や交通規制の見直しなどの局所的かつ即効的な対策により渋滞緩和を図っています。

第3次緊急渋滞対策箇所　対策事例（幸区：遠藤町交差点　令和２年度）

対策前：右折レーンからあふれた車両が直進車等の通行を阻害し渋滞
対策後：右折レーンを約６０ｍ延伸し、右折青矢印信号を延長したことで、直進車等の通行を円滑化





ストック効果

自動車交通の円滑化を促進

・車線や通行帯の変更、信号制御の変更等の即効的、局所的な対策により渋滞を緩和しています。

道路利用における安全性の向上

・交通の円滑化により自動車と自転車・歩行者との交錯を解消し、交通安全性が向上しています。

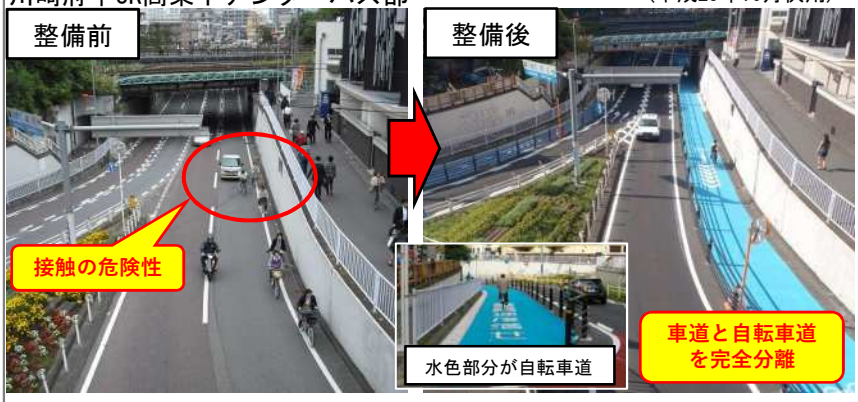
⑥安全で快適な自転車利用

自転車通行環境の整備、放置自転車対策の推進

自転車、歩行者の双方の安全性を確保し、市民が安心かつ快適に道路を利用できるよう、自転車通行環境の整備や放置自転車対策を行っています。

自転車通行環境整備

川崎府中JR高架下アンダーパス部



自転車道（車道、歩道と分離した自転車専用道）

（令和4年3月供用）
多摩川スカイブリッジ

自転車専用通行帯

車道混在

自転車関連事故件数が減少傾向

放置自転車対策

新川崎駅周辺駐輪場整備（令和5年度）

駐輪場利用指導

撤去作業

ストック効果

自転車、歩行者の安全性・快適性の向上

・自転車通行環境の整備により、自転車と歩行者や自動車との接触事故が減少するなど安全性が向上するとともに、快適な移動環境を実現することで、利便性が向上しています。

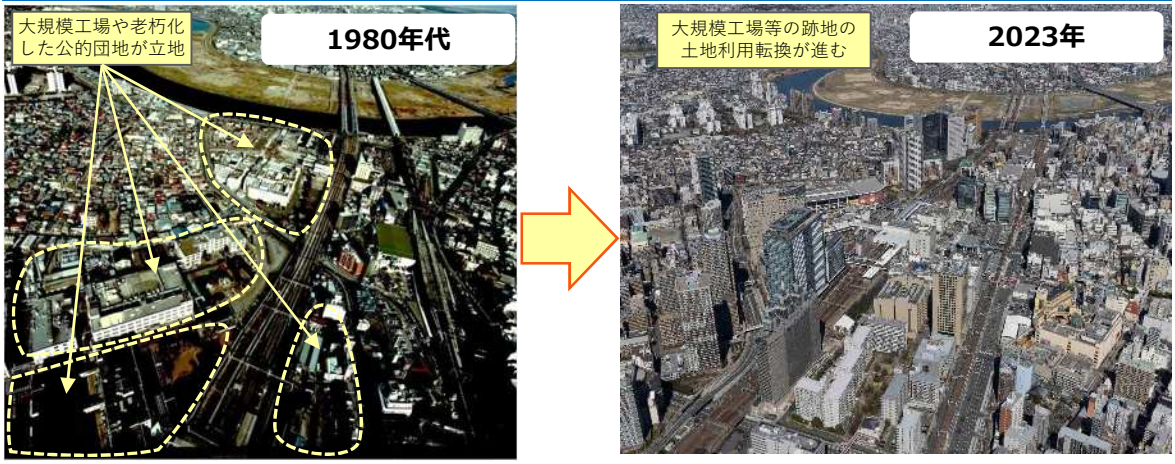
・放置自転車の減少により、歩行者や緊急車両の通行環境が改善しています。

景観の向上

・放置自転車が減少することで、まちの景観が向上しています。

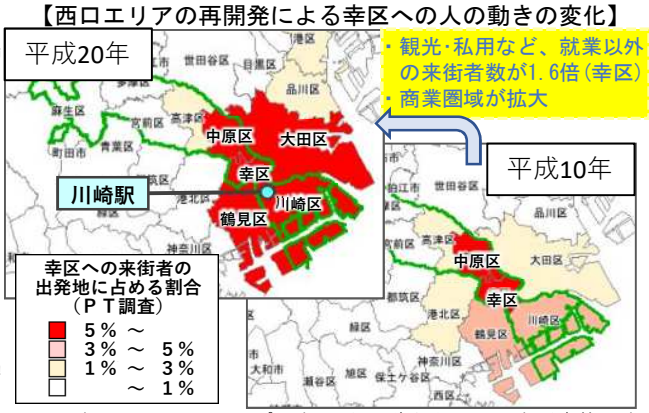
⑦活力と魅力あふれる川崎の玄関口
川崎駅周辺地区のまちづくり

羽田空港との近接性などの立地ポテンシャルを活かし、多様な賑わいや交流による活力と魅力にあふれた、本市の玄関口にふさわしい広域拠点の形成を図りました。



経済の活性化

【西口エリアの再開発による幸区への人の動きの変化】



※PT調査(パーソントリップ調査)：人の動きを調べる交通実態調査

回遊性の強化と防災性の向上

【東口駅前広場のバリアフリー化】

【自由通路等の整備】
（北口通路・北改札）

【都市再生安全確保計画】
（デジタルサイネージ）

ストック効果

経済の活性化に寄与

・大規模工場からの土地利用転換や再開発事業等の適切な誘導などにより、川崎駅周辺の年間商品販売額は大きく増加し、商業圏域も拡大するなど、経済の活性化につながっています。（ラゾーナ川崎は、全国のショッピングモールの中で、売上2位を達成（2015年））

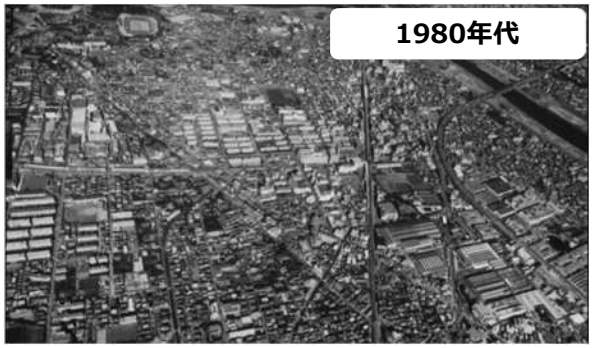
回遊性の強化と防災性の向上

・バリアフリーに配慮した東口駅前広場の再編整備などにより回遊性が強化され、にぎわい創出に寄与しています。

・首都圏で初となる「都市再生安全確保計画」の策定など、都市の防災機能の向上が図られました。

⑧選ばれるまち武蔵小杉
小杉駅周辺地区のまちづくり

民間開発の適切な誘導と支援により、都市型住宅や商業、事業所、公共公益施設などがコンパクトに集積した市域の中心部に位置する広域拠点としてふさわしい都市拠点の形成を図っています。



まちの魅力や利便性の向上

JR横須賀線新駅の整備を含む基盤整備の推進や再開発事業の実施

波及効果

民間投資額
(H26までの開発事業費)
約2,900億円

魅力向上

鉄道利便性の向上

武蔵小杉駅からの所要時分
- 川崎駅　9分（快速）
　　12分（普通）
- 東京駅　17分
- 新宿駅　18分
- 渋谷駅　13分
- 品川駅　10分
- 横浜駅　10分

ストック効果

まちの魅力や経済の活性化

・駅前広場や道路等の公共施設の整備、商業・事業所・都市型住宅等の機能集積とともに、図書館・ 市民館等の再整備を駅近くで行うなど、コンパクトで利便性の高い、歩いて暮らせるまちづくりの実現により魅力が向上しています。

・鉄道駅や駅周辺4地区の市街地再開発事業の整備など、地区の骨格を形成する事業を重点的に支援することで、地区周辺の民間開発事業を誘発し、経済の活性化につなげています。

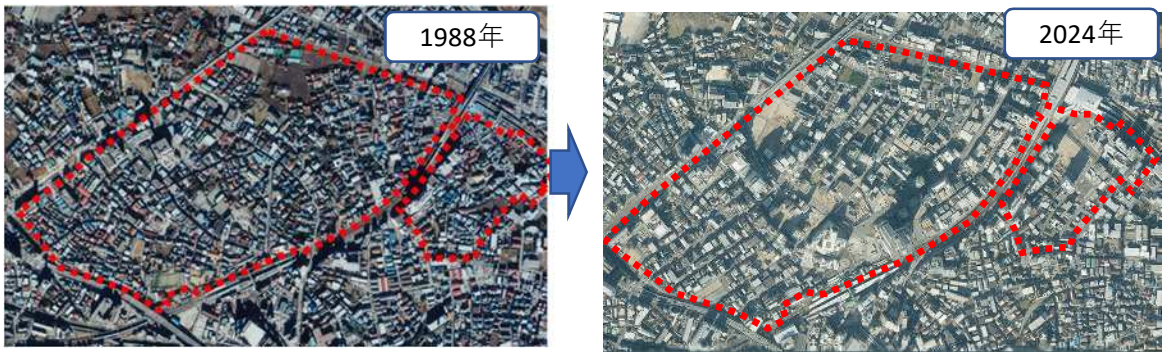
鉄道利便性の向上

・横須賀線武蔵小杉新駅の設置等により、武蔵小杉駅の交通結節機能が大幅に強化され、鉄道利便性が向上しました。

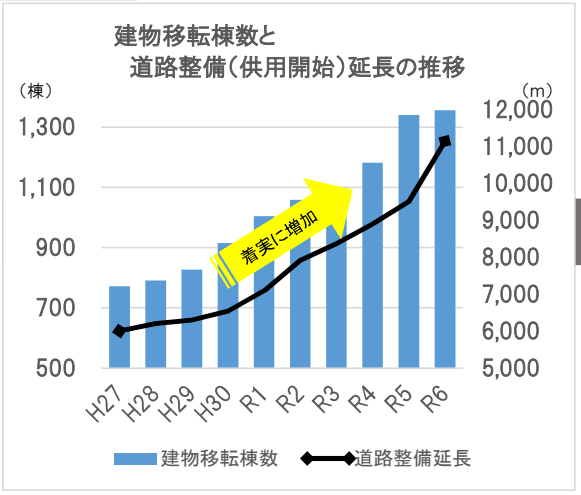
⑨魅力とにぎわいのあるまちの形成

登戸土地区画整理事業

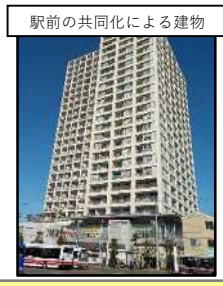
道路や公園、駅前広場などの公共施設の整備を中心とした総合的な土地利用を進め、防災性の向上と生活環境の改善を図るとともに、多摩区の玄関口としてふさわしい魅力と活力にあふれた拠点の形成を進めています。



防災性の向上と生活環境の改善



まちの魅力とにぎわいの創出



ストック効果

防災性の向上と生活環境の改善

・道路整備と併せ、下水道やガスなどのインフラが整備されることで、地域の生活環境の改善が図られています。
・老朽化した建物などが耐火性能を有する建物に更新され、地域の防災性が向上しています。

まちの魅力とにぎわいの創出

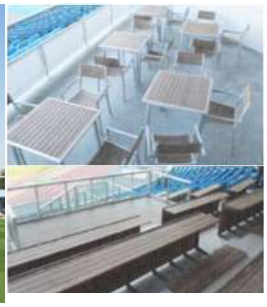
・土地が整形化され、有効な土地利用の促進に繋がっています。
・事業による建物の建替えを契機とした住民主体のまちづくり活動が始まるなど、魅力とにぎわいのある新たなまちの形成が進んでいます。

⑩魅力あふれる拠点の形成
等々力緑地、富士見公園の再編整備

総合公園にふさわしい「スポーツ・文化・レクリエーション活動の拠点機能の強化」を目指し、等々力緑地、富士見公園の再整備を推進しています。

等々力緑地

等々力陸上競技場メインスタンド



バラエティシート

四季園、とどろきアリーナ、釣池

等々力球場

富士見公園

富士通スタジアム川崎

リニューアルした広場

ストック効果

多様なスポーツの拠点として賑わいを創出

・等々力緑地の陸上競技場やとどろきアリーナ、等々力球場では、サッカーJリーグ、バスケットボールBリーグ、学生野球など、富士見公園の富士通スタジアム川崎ではアメリカンフットボールXリーグが開催され、試合開催日は多くの人々で賑わいます。車椅子席等の多様な観客席の整備により、誰でも快適にスポーツ観戦が可能です。

多様な目的で集う市民の憩いの場を提供

・公園内には文化施設や緑地があり、色々な目的で多くの方が集まる憩いの場となっています。
・富士見公園は再編整備によって、広場や遊具などの新たな憩いの場を整備しました。

災害時の安全性を向上

・災害時の避難や救援活動・物資受入れ等に対応できるよう拠点整備を行っています。
・指定管理者による災害時の安全性向上に資する取組として、防災訓練等を毎年実施しています。

⑪豊かな自然と文化施設
生田緑地の保全・管理・運営

緑地と緑地内文化施設を横断的に管理する指定管理者制度の導入及び、市民活動団体や地域、大学等との協働によるパークマネジメントにより、自然環境の保全と利用の両立を図っています。

豊かな自然と保全活動

飛森（とんもり）谷戸

ばら苑

枡形山

「生田緑地ビジョン」に基づく協働のプラットフォームとして「生田緑地マネジメント会議」を組織し、市民団体、地域、大学、行政及び指定管理者が、同じ円卓に着いて話し合い、お互いの特性を生かしながら、生田緑地の課題解決やブランド化などに取り組んでいます。

どろんこ教室

協働による伐採の様子

多様な施設や自然を活かしたイベント

日本民家園

岡本太郎美術館

かわさき宙と緑の科学館

藤子･F･不二雄ミュージアム

お月見フェスタ

薪ストーブ

緑化フェア

ストック効果

生物多様性の保全・資源循環の取組
・希少な動植物が生息するなど、豊かな自然環境を市民活動団体と協働で保全・育成し、生物多様性の確保に寄与しています。
・樹木剪定による発生材を園内の補修や薪ストーブの燃料として活用する他、日本民家園での燻煙作業に利用し、さらにその灰を藍染めに活用するなど、資源循環の取組を推進しています。

環境への関心を高める場の創出
・緑地内で植物や野鳥などの自然観察会、田植え体験など、体験型環境学習の場を創出しています。

文化の継承、芸術等の学びの場を提供
・多様な文化施設で楽しく学べる場を提供しています。伝統工芸館では、藍染めの体験や講座を通じ、市域に伝わる藍染め技術の継承及び魅力の発信に取り組んでいます。

魅力の発信による賑わいの創出
・生田緑地の自然を活かしたイベントや施設間で連携したイベント等を開催し、魅力を発信するとともに賑わいを創出しています。（令和5年度生田緑地来園者数：約76万人）

⑫誰もがのびのび過ごせる身近な公園
魅力的な公園の整備

老朽化の進んだ公園の再整備やバリアフリー化の取組など、市民ニーズに合わせた魅力的な公園の整備を進めます。

小田公園の再整備

周辺住民とのワークショップやアンケートを踏まえ、公園を再整備（平成29年7月完成）

子ども広場（大型遊具）

外周園路

水遊び施設（じゃぶじゃぶ池）

地域イベント（夏のお楽しみ会）

バリアフリー化の例（みんなのトイレ）

稲毛公園（川崎区）

健康器具

小向公園
（幸区）

特色ある遊具

下沼部公園（中原区）

稲田公園（多摩区）

ストック効果

地域コミュニティの活性化
・子供から高齢者まで、地域の人々が集まる場を提供し、コミュニティの活性化に寄与しています。

子育て・健康空間の創出
・地域のニーズに合わせて必要な遊具や健康器具などを整備し、身近な公園で子育てや健康づくりの空間を創出しています。

高齢者や障害のある方への安心の提供
・公園入口等の段差解消や「みんなのトイレ」の整備など、公園のバリアフリー化により高齢者や障害のある方も安心して公園を利用できます。

災害時の身近な安心の提供
・災害時にはすぐに行ける身近な避難場所としての機能を発揮し、安心を提供しています。

⑬墓所と自然が融合した親しみある霊園
市営霊園の整備

高齢化や核家族化などを背景とした価値観の多様化に対応した様々な墓所整備を進めます。
また、市民が憩え、自然と触れ合える空間にするため、公園機能の充実を進めます。

ニーズの多様化に対応した墓所

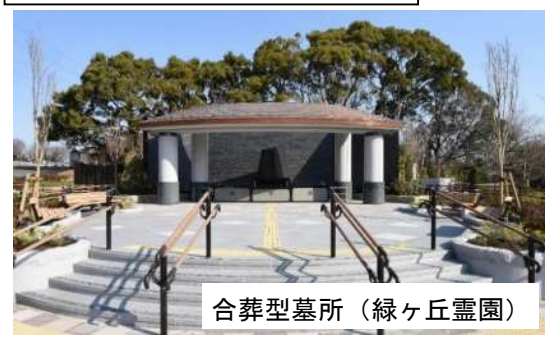
小区画一般墓所
（緑ヶ丘霊園）

壁面型墓所
（早野聖地公園）

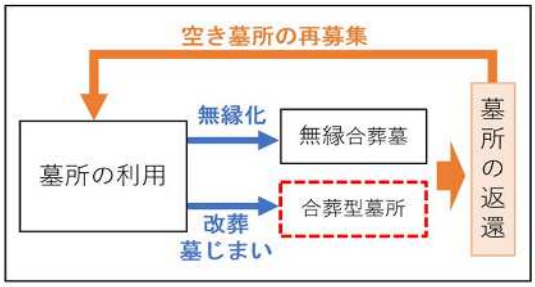
芝生型墓所
（早野聖地公園）

集合個別型墓所
（早野聖地公園）

合葬型墓所を活用した循環利用



合葬型墓所（緑ヶ丘霊園）



公園機能の充実

公園エリアの整備イメージ
（早野聖地公園）

ストック効果

ニーズに対応した墓所の安定的な提供

・多様化するお墓のニーズに応えるため、様々な形態の墓所を提供しています。また、空き墓所の再募集や小区画の墓所を整備することで、より多くの方の利用が可能になります。

安心の提供と負担の軽減

・個人での管理が不要な合葬型墓所を整備することで、墓所の承継に対する不安と管理の負担を軽減します。

自然豊かな市民の憩いの場の創出

・広大で貴重な自然を活かしつつ公園機能を充実させることで、市民が憩え、自然と触れ合える空間を創出します。

⑭巨大な地下トンネルが守る地域の暮らし
五反田川放水路の整備

大雨の際に五反田川の水を地下トンネルを通じて直接多摩川へ放流させることで地域を洪水から守る「五反田川放水路」を整備しました。

昭和51年9月洪水の状況（多摩区枡形地内）

現場見学会の様子

ストック効果

浸水リスクに対する地域防災力の向上

・大雨に対する安全性を高め、災害に強いまちづくりに貢献します。

住民の防災意識の向上

・説明会・見学会の開催など、地域へ積極的な情報提供することで、流域治水等の広報を行い、地域住民の防災意識の向上に寄与しています。

⑮心地よい風が吹く憩いの場
多摩川緑地の整備・管理

都市に近接した貴重な水と緑のオープンスペースである多摩川において、市民が様々なスポーツやレクリエーションを楽しむための施設整備及び維持管理を行っています。

多摩川緑地バーベキュー広場

瀬田ピクニック広場

音楽イベント

丸子橋河川敷

ふわふわタマランド（エアー遊具）

キャンドルスケープ川崎

キッチンカー事業

多摩川の豊かな自然を活用

かわさき多摩川ふれあいロードの整備

川崎国際多摩川マラソン
（中原区　等々力）

多摩川河川敷の新たな利活用

丸子橋河川敷社会実験

登戸河川敷利活用イベント

ストック効果

多様な楽しみ方ができる水辺空間の創出

・多摩川緑地バーベキュー広場では、民間（指定管理者制度）による機材のレンタルなど、利用者ニーズを捉えたサービスや、施設周辺の清掃・地域イベントの開催などの取組によって、バーベキューの適正利用及び多摩川沿いの賑わい創出を実現しています。

・また、地域住民や関係企業・団体等と連携し、多摩川河川敷のさらなる利活用や賑わいと交流の創出に向け、様々なアクティビティを楽しむことのできるイベントの開催等の取組を進めています。

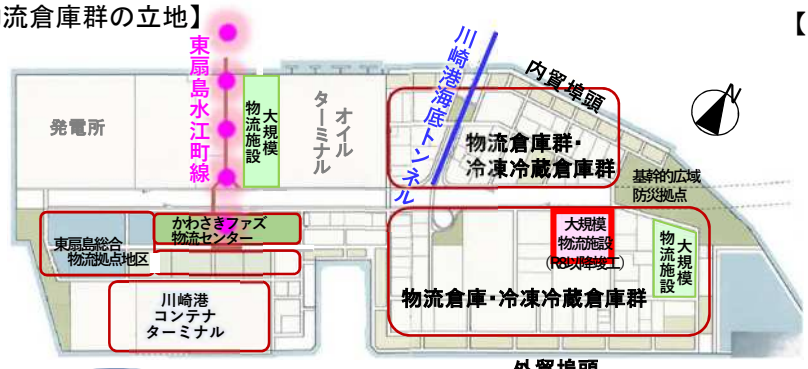
スポーツ拠点としての賑わいの創出

・多摩川の豊かな自然環境の中で、市民が気軽にスポーツを楽しむ機会を創出しています。

⑯物流拠点と防災拠点を支えるインフラ
臨港道路東扇島水江町線の整備

川崎港コンテナターミナル等の物流拠点を有する東扇島地区と内陸部を結び、京浜運河を橋りょうで渡る臨港道路を整備します。（令和9年度本線完成予定）

【物流倉庫群の立地】



【東扇島東公園】

基幹的広域防災拠点における
防災訓練の様子

出典：関東地方整備局HP

ストック効果

総合的な港湾物流拠点としての機能を強化

・東扇島地区には、高機能な物流施設や日本有数の冷凍冷蔵倉庫が集積しています。
近年、大規模物流施設の進出が続いており、今後も新たな施設の立地が予定されております。
・臨海部交通ネットワークの拡充により、総合物流拠点としての機能強化を図り、地域経済の活性化を通じて、企業の設備投資や新たな雇用を誘発します。

基幹的広域防災拠点を支える重要な交通インフラ

・災害時には首都圏における緊急物資の中継基地等として機能することから、緊急物資輸送ルートの多重化を図り、広域防災拠点の機能強化を図ります。

Colors, Future!
いろいろって、未来。
川崎市

Green For All
KAWASAKI
2024

全国都市緑化かわさきフェア開催

令和7年　3月22日～　4月13日

お問合せ先

●道路・橋りょう・河川・公園緑地の整備等に関すること
建設緑政局総務部企画課
電話　044-200-2770　　FAX　044-200-3973

●都市計画、住宅、建築宅地、施設整備等に関すること
まちづくり局総務部企画課
電話　044-200-2715　　FAX　044-200-3967

●川崎港の港湾計画・整備・経営・管理、港湾振興等に関すること
港湾局港湾経営部整備計画課
電話　044-200-3061　　FAX　044-200-3981

更新：令和7年3月